

遊歩一景

沖浦大師堂
(長浜学区)



福山空襲の後
引野国民学校
6年生の教室
として使われた

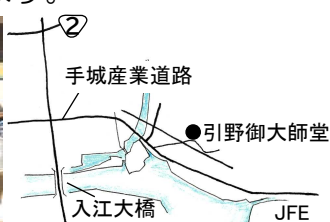
江戸時代の終わりに四国八十八か所の巡礼が盛んになり、この沖浦から船が仕立てられました。その待合所として引野の谷地の松浦氏が堂を建て、弘法大師を祀ったとされています。

沖浦地区は、引野丘陵の南端の海岸線にある集落で、かつて漁船が繋がれた静かな浜辺でした。

第二次世界大戦のとき、大津野村津之下の浜に海軍航空隊ができ、さらに沖浦に造船所ができると、この辺りは様相が一変しました。

160年以上の年月の変容をこの沖浦大師堂は、どんな思いで眺めてきたのでしょうか。終戦から80年を迎えた今、平和を守り続けるために私たちは何をしなければいけないのか、を問われているように感じます。

沖浦大師堂は、町内会の方々の手で毎週清掃し、風を通して手入れを続け、町内会の集会所として今もなお大切にされています。



桜坂ギャラリーへ

企画展

「2025 平和アピール展」
～平和への願いを込めて～

●期間 8月18日(月)まで

●場所 東部市民センター2階 ロビー

「高めあう 人権感覚 確かな未来」

東部いれこみ情報 学習情報紙 No.287 8月号

2025年(令和7年)8月1日

発行 東部地域振興課

住所 〒721-0915 福山市伊勢丘6-6-1

電話 940-2574 FAX 947-5658

カラーは 福山市東部地域振興課

ホームページで 検索・二次元コード



TouTube・トーチューブ

紙芝居「宇山の空襲」

東部地域振興課では、生涯学習の成果などを発表する機会の一つとして YouTube のチャンネルを開設しています。

今回は、紙芝居「宇山の空襲」です。春日町の宇山地区は、福山空襲の夜に焼夷弾を落とされました。体験者の話を基に春日公民館が1997年に作成。空襲から80年の今年、広島大学附属福山中学高等学校放送部のみなさんに朗読を担当してもらい収録しました。

〈配信〉8月1日(金) 9:00～

- 動画サイト YouTube
- チャンネル TouTube.F
- 問い合わせ先 東部地域振興課



電話：084-940-2574

FAX：084-947-5658

メール： ↓ ↓ ↓

toubu-chiikishinkou@city.fukuyama.hiroshima.jp

東部支所管内の保育所・こども園・幼稚園・放課後児童クラブのこどもたちが平和の大切さを考え作った作品を展示します。

【作品展示予定】

- ・引野保育所 ・伊勢丘こども園
- ・蔵王保育所 ・緑丘幼稚園
- ・大谷台放課後児童クラブ

主催・問い合わせ先 東部地域振興課

電話 084-940-2574

FAX 084-947-5658



地域の人が講師！小学校で防災教室を実施（坪生学区）

6月19日に、坪生小学校で防災教室が開催されました。坪生学区では、地域で組織する防災リーダー連絡会のメンバーが昨年度に続き講師を務めました。

2回目となる今年度は、防災に関するお話の後、地震体験を行いました。これは、カーペットの四隅を前後左右に引っ張って横揺れを再現するものです。あらかじめ、各クラスから



地震の揺れ体験をしている様子



防災の話に聞き入る児童の様子

3人ずつ選ばれた児童が、激しい揺れを体験しました。副会長の森岡さんは、「防災は、起きたことや教訓などの伝承が大切。おとなになったら次の世代の人に伝えてください」と話されました。

坪生小学校の渡部校長は、「防災教育は、児童にとってとても大切なこと。昨年度に引き続いて地域の人に工夫していただき、災害の怖さが実感できた」と話されました。

培遠中学校 夏休みこどもクラブ（春日交流館）ボランティア

7月25日に、培遠中学校の生徒3人が春日交流館で開催された『夏休みこどもクラブ』でボランティアを行いました。

これは、昨年の夏休みから春日交流館が行ってきたものです。この日は、小学生に宿題を教えたり、カードやけん玉遊びを一緒にしました。また、カレー作りでは野菜の皮をむく時に危険がないよう見守りました。包丁で、野菜を切ることに慣れていない児童に、優しく手を添えながら「猫の手みたいに（指を丸めて）切って」と教える姿が見られました。

小学生からは「お姉ちゃんに、お話をいっぱい聞いてもらった！」「一緒にゲームをしてくれた！」

「カレーを一緒に作って食べて、嬉しかった！」などの声が聞かれました。

中学生からは「包丁を使うサポートしてあげたら喜んでくれて嬉しかった」などの声があり、小中学生ともに夏のいい体験ができたようです。



東部管内イベント・講座情報

春日交流館

防災講座「防災×食」

【日時】 8月19日（火）10時～11時30分

【会場】 春日交流館 会議室

【講師】 大原 知（さとる）さん
（ボウサイズ救急救命士）

【内容】 災害時の食に関しての学びです
座学とパッククッキングなど教わります

【定員】 16人（要申込）

【参加費・材料費】 無料

【持参物】 筆記用具、エプロン、三角巾
ふきん、マスク

【申し込み・問い合わせ先】

春日交流館 084-947-4491

春日コミュニティ館

「人権平和コンサート」

【日時】 8月22日（金）10時～12時

【会場】 春日コミュニティ館

【出演】 竹本信也さん・平田 康さん（LIVES）

【内容】 戦後80年の節目の年にあらためて戦争
の恐ろしさや平和の大切さについて、コ
ンサートをとおして考えます
コンサート後は手打ちうどんの試食と交
流会をします

【対象】 どなたでも

【申込】 うどんを食べる人は申し込みが必要です

【材料費】 200円

【申し込み・問い合わせ先】

春日コミュニティ館 084-943-2531

伊勢丘交流館

おはなし会「もののけストーリー」

【日時】 8月19日（火）13時30分～15時

【会場】 伊勢丘交流館 会議室

【講師】 伊勢丘小学校図書ボランティア
「本の森」のみなさん

【内容】 図書ボランティア「本の森」のみなさん
による楽しい劇や読み聞かせです
戦後80年を迎える今年、平和につい
てのコーナーもあります

【対象者】 乳幼児と保護者～中学3年生

【定員】 50人（要申込） 【参加費】 無料

【持参物】 飲み物

【その他】 ボランティアの参加も受付けます

【申し込み・問い合わせ先】

伊勢丘交流館 084-947-0511

長浜交流館

笑って帰れる元気サロン “いっぴく”

【日時】 8月28日（木）13時30分～15時

【会場】 長浜交流館 会議室

【講師】 馬屋原 真さん
（福山市地域包括支援センター）

【内容】 アンガーマネジメント 疲れない介護

【対象者】 成人・一般

【定員】 なし

【申し込み】 不要

【参加費】 100円（飲み物・お菓子付）

【申し込み・問い合わせ先】

長浜交流館 084-941-7019

東部図書館からのお知らせ

展示「東部まちづくり博覧会」

【日時】 8月1日（金）～9月15日（月祝）

【場所】 東部図書館 1階フロア

【内容】 東部地域の交流館が作成した学区紹介
のパネル展示

【問い合わせ先・申し込み】

東部図書館 084-940-2575

「なつのおはなし会」

【日時】 8月3日（日）11時～11時45分

【場所】 東部図書館 2階集会室

【内容】 大型絵本『どうぶついろいろかくれんぼ』
エプロンシアター『そうのはなは なぜながい』など
「サロンコンサート」

【日時】 8月26日（火）14時～14時30分

【場所】 東部市民センター 1階サロン

【内容】 ヴァイオリンの演奏

【出演】 アンサンブルきらら

思い込みによる排外的な風潮を危惧

外国人に対する排外的な風潮がインターネットを通じて拡散されている報道を見聞きする機会が増えました。それは「行政サービスが優遇されている」「治安が悪化している」など、根拠のない書き込みを受け入れた反応が多いようです。

専門家は「これらの情報は間違いである」と指摘。行政機関も否定し、「間違った思い込み」で外国人のイメージが形成されてしまうことを危惧しています。

多文化共生推進プランに基づくまちづくりを

福山市では、福山市多文化共生推進プランに基づくまちづくりを推進しています。それは、在住

外国人を含めた市民の誰もが、お互いの文化を尊重しあえる社会をめざす取組です。

福山市で暮らす外国人市民は増加し続けており、学校や職場、地域や商業施設など、あらゆる場所で外国人と知り合う機会が今後も増えていきます。これは、日本における労働力不足を補うために、外国人に大きな期待が寄せられた結果だと言えます。

お互いの文化を尊重し合う社会作りのために、インターネットで見聞きする心ない書き込みを、根拠を持って判断する力が求められています。

東部市民センター開館25周年 記念の集い

7月26日に「東部市民センター開館25周年記念の集い」を行いました。

絵本作家のおおなり修司さんの講演と絵本の内容に合わせ、こどもたちが体験型のゲームを行い、多くの笑い声が聞かれ和やかな雰囲気になりました。

その後、開館当時の映像などが流れ、25年前の地域のことを初めて知る人や、当時のことを知る人は懐かしみながら映像を見ておられました。



中学生による合唱の様子

フィナーレには、東朋・鳳・一ツ橋・幸千中学校の生徒による合唱がありました。限られた練習時間の中、みんなで意見やアイデアを出し合い、心をつなげて、会場にお越しの皆さんや地域の皆さんへ感謝の気持ちを込めて歌いました。

会場からはそれに答えるような大きな拍手があり、緊張がほぐれた生徒から笑顔がこぼれ、大盛況の中で終わることができました。

東部人権問題研修会

「福山空襲八〇年」 後世に伝えたい記憶

●内容

- ・上映「体験者の証言」
東部にお住いの体験者
- ・展示「東部の戦争遺跡」

●日時 9月6日(土)

展示 13:00～

上映 14:00～15:00

●会場 東部市民センター

●主/問：東部地域振興課

☎ 084-940-2574

桜のさくらやき

昨年度の原爆資料館来場者は過去最多だったそうです。戦争をくり返してはいけないという人々の思いは大きいのですが、その一方で戦禍が絶えません。メディアに映る爆撃の様子、逃げ惑う人、家族を亡くして泣き崩れる人、何とかできなかつた心痛みます。犠牲になる人の多くは、武器も持たず抵抗できない女性や子どもたちです。

戦後八十年の節目を迎える今年、戦争体験者にとって心や体に刻まれた傷は癒える事は無く、終戦はないのかもしれない。平和である事が当たり前ではありません。今、戦争体験者の多くは高齢となり、生きた言葉で語り継ぐことができるのは、時間に限りがあると言われています。戦争があった事実に向き合い、一度と戦争を起さないうちにできる事を考え、語り継いでいく事が重要ではないでしょうか。

東部地域振興課でも、戦争体験者の証言を聴いて、その記憶を後世に伝えていく研修会を行います。多くの人に参加していただき、一人ひとりが関心を持ち、自分にできる小さい活動を積み重ねていく事が大切だと感じます。

